

<参 考>水浴場水質判定基準（環境省）

項 目 区 分		ふ ん 便 性 大 腸 菌 群 数	油 膜 の 有 無	C O D	透 明 度
適	水質 A A	不 検 出 (検出下限 2個/100 mL)	油膜が 認められない	2 mg/L 以下 (湖沼は 3 mg/L 以下)	全 透 (または1 m以上)
	水質 A	100個/100 mL 以下	油膜が 認められない	2 mg/L 以下 (湖沼は 3 mg/L 以下)	全 透 (または1 m以上)
可	水質 B	400個/100 mL 以下	常時は油膜が 認められない	5 mg/L 以下	1 m未満～50cm 以上
	水質 C	1000個/100 mL 以下	常時は油膜が 認められない	8 mg/L 以下	1 m未満～50cm 以上
不 適		1000個/100 mL を超えるもの	常時油膜が 認められる	8 mg/L 超	50cm未満 (※)

(注) 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

透明度(※の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。

<用語説明>

【ふん便性大腸菌群数】

大腸菌群として検出される菌群の中で、特にふん便による汚染を示す指標

【COD（化学的酸素要求量）】

水中の有機物を、酸化剤で酸化するときに消費される酸素量で表したもので、水の汚れを調べる指標

【腸管出血性大腸菌（O157）】

病原大腸菌の中で、毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす腸管出血性大腸菌の一種